

目 次

日本語版の出版にあたって	前田 潔	iii
原著者一覧		v
訳者一覧		vii
第 I 部 災害時の高齢者のニーズに対するコミュニティー対応		1
第 1 章 サービスを調整する		
— アメリカ合衆国における州と地域のネットワークと社会資源		
..... William Grant, Douglas M. Sanders		3
I. 州の防災計画の発展		4
II. アメリカ合衆国連邦政府のアプローチ		5
III. 防災計画の作成		7
IV. サービスの調整, メンタルヘルス, 治療的な関係づくり		11
第 2 章 防災に関する老年医学の国家および国家間モデル		
— カナダ方式	Trish Dryden, Lynda Atack	15
I. カナダの高齢者の概況		15
II. カナダの災害研究		17
1. マニトバ州レッド川の大洪水	17	
2. ケベック州の大寒波	18	
3. ケベック州サグネ・ラック・サン・ジャン地域の洪水	19	
III. カナダ赤十字社の研究		20
IV. 行政発の活動		21
V. 学術界発の活動		22
VI. 地域発の活動; 得られた経験		25
VII. カナダの災害管理と防災対策, 高齢者人口の未来について		27
1. 責任の共有	27	
2. 脆弱な人口集団	28	
3. 能力の育成	29	
VIII. 結論		30

第3章 高齢者への災害対策サービス

— スーパービジョンならびに促進化リフレクティブ・プラクティスを中心として

..... Philippa Sully, Malcolm T. Wandrag, Jenny Riddell	33
I. サービス提供者への心的外傷（トラウマ）による影響	33
II. 支援チームのための手段；ナラティブと促進化省察	35
1. ナラティブ	35
2. リフレクティブ・プラクティス	36
3. リフレクティブ・プラクティスはコミュニティーに利益をもたらす	40
III. 結論	41

第4章 コミュニティープランの作成

— 公衆衛生の視点で Andrea Villanti 45

I. 災害；コミュニティーレベルでのイベント	45
II. 従来の緊急準備の欠陥	46
1. 非政府組織に対する訓練の欠如	46
2. 技術よりも市民の防災対策セットを重視	47
3. コミュニティーレベルでの演習不足	48
4. 緊急時の計画と対応におけるコミュニティーの定まった役割の欠如	48
5. 緊急準備における高齢者特有の懸念事項	49
III. コミュニティーの準備とはなにか	49
1. コミュニティーの準備，ソーシャルサポート，社会資本	50
1) 高齢者とソーシャルサポート	52
2. コミュニティーの準備の概念的モデル	52
IV. コミュニティープランの作成	53
1. 緊急準備・対応におけるコミュニティー内組織の役割を定義	54
1) コミュニティー組織に特化した準備訓練の提供	54
2. 準備と復興におけるコミュニティーならびにコミュニティー組織の役割の認識	54
1) コミュニティー組織との協力によるコミュニティーメンタルヘルス・プログラムの開発	55
2) コミュニティーの世話人の心を和らげ，報告を聞く手続きの構築	56
3) 社会資本強化のための市民，学術，健康，コミュニティー組織間の連携と架け橋の構築	56
3. 共有資源を革新的な方法で利用し，準備を改良する	57
1) 緊急時にコミュニティー組織を安全空間として利用する	57
2) 緊急医療物資をコミュニティー組織に保管し，コミュニティーリーダーや世話人に使用法を教示する	57

3) 情報配信を拡大するためにコミュニティーリーダーを緊急警報システムに加える	57
4) コミュニティー組織と協力して準備の訓練を供与	58
4. コミュニティー準備の計画に高齢者を含める	58
V. まとめ	59
第5章 高齢者と介護者のための自助ツール	Nina Tumosa 63
I. 災害や緊急事態による健康障害	64
II. 医療における自助モデル	65
III. セルフケアプログラム	66
IV. 復元力 (resiliency) の促進	67
V. まとめ	71
第6章 ボランティア	
— 災害時の役割と活用	Nora O'Brien-Suric 75
I. 災害時の対応にはコミュニティー活動が大切	75
II. 災害に備える	76
III. コミュニティーにはリーダーが必要である	76
IV. 地域ボランティアと災害	77
V. 緊急時の援助のためのボランティア募集	78
VI. ボランティアの動機	78
VII. だれがボランティアになるのか	79
VIII. 緊急時ボランティアの育成	80
IX. 自発的なボランティアのための計画	81
X. 高齢者ボランティア	81
XI. すべての緊急時対策計画に高齢者と障害者の援助計画を含むべきである	83
XII. メンタルヘルス・サービスを行うボランティア	84
XIII. ボランティアと災害後の働き	85

第Ⅱ部 災害時に必要な高齢者への医療対応 89

第1章 災害時の高齢者に対する心理社会的・薬理的介入	
..... Douglas M. Sanders, Mark R. Nathanson	91
I. 包括的かつ、個別化された評価	91
II. 回復力と災害メンタルヘルス	95
III. 個別的でダイナミックな、回復力をベースにした介入の取り組み方	96

IV. 根拠から情報を得る災害時の介入	96
V. 災害後の症状領域と包括的評価	98
VI. 長期的な災害後の症状とその評価	100
1. 行動的介入 100	
2. 認知的介入 100	
3. 対人関係に基づく介入 101	
4. イメージに基づく介入 102	
5. 精神力動的, かつ実存的なモデル 102	
VII. 高齢者における心的外傷後ストレス障害の精神薬理学および治療と, 精神病理学的症候群	102
VIII. 効果的で個別化された統合的な介入戦略	104

第2章 災害における高齢者へのケースマネジメント

..... Michael B. Friedman, Kimberly A. Williams	109
I. ケースマネジメントとはなにか?	110
II. ケースマネジメントの効果	111
III. 困窮している住民	112
1. 心理学的既往とニーズ 112	
2. 居住の状態 113	
1) 地域社会に居住する高齢者 113	
2) 自然発生的定年退職者コミュニティー (NORCs) 114	
3) 特別な住宅 (special housing) の高齢者 114	
IV. 反応の異なる段階におけるケースマネジメントの役割	115
1. 準備の段階 115	
1) 一般的な準備 115	
2) 特定の, 予期される災害への準備 115	
2. 危機の段階 116	
1) 災害の対応センター 116	
2) 自宅に留まる高齢者 117	
3) 特別な住宅の中の高齢者 117	
3. 再建段階 117	
1) 地域社会に居住する高齢者 117	
2) 特別な住宅の中の高齢者 118	
4. 長期の精神障害と物質使用障害 118	
V. だれがケースマネジメントを提供するのか?	119
VI. 政策考慮	120

第3章 補完代替医療アプローチ

..... Lucia McBee, Concetta M. Tomaino, Richard Mandelbaum, Therese M. Mierswa, Andrea Sherman	123
I. 補完代替医療	123
II. マインドフルネスに基づくアプローチ；対処することではなく， 応答することを習得する	125
III. クリエイティブアートセラピーアプローチの概要	128
1. 音楽を通して認知症高齢者と交流する 129	
2. 介護者や医療提供者は，どのように音楽を治療に利用できるのか？ 129	
3. セラピストを見つける方法 130	
IV. 災害時における高齢患者のメンタルヘルスを増進し，保護するハーブ療法の利用	130
1. ハーブ治療はメンタルヘルス増進への道 130	
2. 調整因子としてのハーブ；鎮静薬と適応促進薬 131	
3. メンタルヘルス改善に役立つ有用な薬用植物の具体例 132	
4. 特記事項；安全性と禁忌事項，ハーブと薬物の相互作用 134	
5. 結論 134	
V. スピリチュアルケア	135
1. スピリチュアリティ 135	
2. 民族間のばらつき 136	
3. スピリチュアリティと災害との関係性 137	
4. 災害時における高齢者のスピリチュアルツール 138	
5. 自己救済およびスピリチュアルスキルの構築 142	
VI. 災害対策および災害対応としての儀式	142
1. 災害に対する儀式の恩恵と種類 143	
1) 儀式に用いる道具一式 144	
2) 石の儀式 144	
2. セルフケア 145	
3. 結論 145	
VII. まとめ	146

第Ⅲ部 被災高齢者および遺された者への精神医学的対応 151

第1章 高齢者の災害時メンタルヘルス資源に位置づけられる多職種チーム

..... John A. Toner, Evelyn S. Meyer	153
I. 概要	154
1. 用語の定義 155	

1) チーム	155
2) 多職種チーム	155
3) チームワーク	155
4) 生活の質	155
5) 体系的なチームのエビデンスに基づいた問題解決	155
II. 多職種チームのプロセス；構築，運営，維持	156
1. チームの構築	156
2. チームの運営	156
3. チームの維持	157
III. 問題解決の模擬トレーニング；災害対策のシナリオ	160
1. 概要	160
2. 手順	161
3. 災害対策のシナリオの一例	161
1) タイトル：ダーリング夫妻と地震	161
2) 『ダーリング夫妻と地震』の災害対策のシナリオに登場するキャラクターの配役	162
3) キャラクターロールプレイカード	162
4) 災害対策のシナリオコンティンジェンシーカード	167
5) チームリーダーへのガイド	168
IV. 結論	168
第2章 鑑別診断のための老年医学的アセスメント	Mark R. Nathanson 171
I. 対象者の同定	171
II. 危険因子と災害の心理的影響	172
III. 研究対象になった高齢者群	175
1. 喪失体験が精神病理に及ぼす影響	175
2. 被災前の精神病理；それは被災後の精神病理の発現にどう影響するのか	176
IV. アセスメントのプロセス	176
V. 病歴と精神状態の検査	179
VI. 行動障害	181
1. せん妄	183
2. 認知症	184
3. 感情障害	184
4. 急性ストレス障害と心的外傷後ストレス障害	185
5. アルコール，処方薬，および物質使用	186
6. 統合失調症と慢性精神疾患	188

Ⅶ. 症例呈示	188
Ⅷ. 結論	189
第3章 死別と悲嘆	
— 災害や緊急時の「正常」とは?	D. Peter Birkett 193
Ⅰ. 心的外傷後ストレス障害か, 悲嘆か	193
Ⅱ. メンタルヘルスワーカーの役割	194
Ⅲ. 死別体験者の症状の管理	195
1. 焦燥性興奮と啼泣	195
2. 宗教的信心	196
3. 否認と忘却	196
4. 幻覚	196
5. パニック発作と恐怖症	197
6. 怒り	197
7. うつ状態	197
1) 抗うつ薬による治療	198
8. 喪の期間	198
9. グリーフカウンセリング	199
10. 治療はエビデンスに基づいているのか?	199
Ⅳ. 悲嘆の重症度と痛切さの関係のアセスメント	200
1. 是認される悲嘆と是認されない悲嘆	201
2. 高齢者の死に対して, 深い悲しみはないのか?	202
Ⅴ. 訴訟	202
1. DNR とは Do Not Rescue (救助するな) の略なのか?	202
Ⅵ. ホロコースト生存者	204
1. 診断上の問題	204
Ⅶ. アベルヴァンの悲劇	205
Ⅷ. まとめ	206
索引	209